



学校だより

令和2年2月14日
練馬区立田柄第二小学校
校長 谷田 弘子

HP <http://www.tagara2-e.nerima-tyo.ed.jp> e-mail info@tagara2-e.nerima-tyo.ed.jp

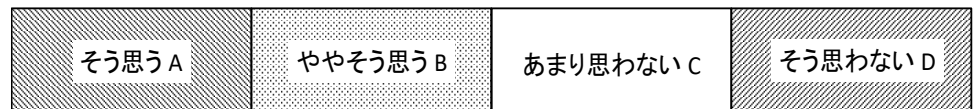
教育目標: 元気な子ども・考える子ども・思いやる子ども

No.505

令和元年度 教育活動アンケートの結果報告

1月に保護者の皆様にご協力いただきました「教育活動アンケート」についての結果をご報告させていただきます。また、同時期に全校児童に対して行いました「授業と生活についてのアンケート」、教職員に行いました「学校評価アンケート」についても合わせてご報告いたします。

★グラフは右の項目で表示しています。



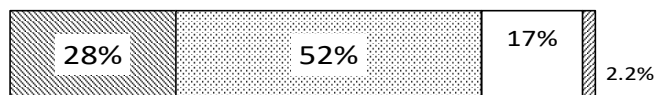
★各質問に対するアンケートの結果は、右のように表示しています。

上段	児童のアンケート結果	(回収率99.5%)
中段	保護者のアンケート結果	(回収率96.8%)
下段	教員のアンケート結果	(回収率100%)

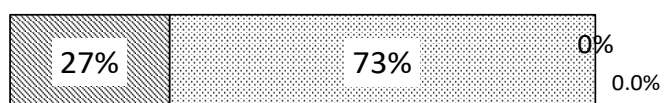
①授業に積極的に参加している。

*児童と保護者は同じ質問文です。

以下、同様。

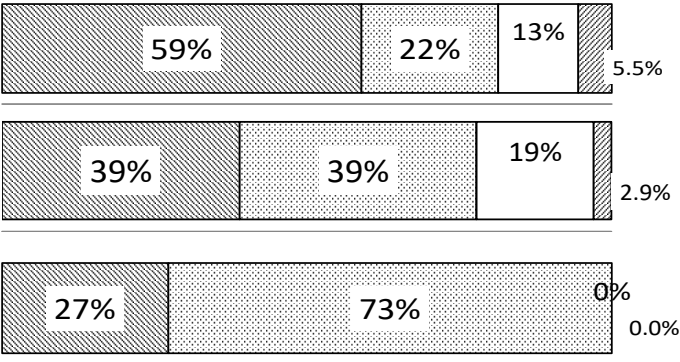


教員の質問文
子供たちが学習活動に積極的に取り組むように授業や宿題等を工夫している。



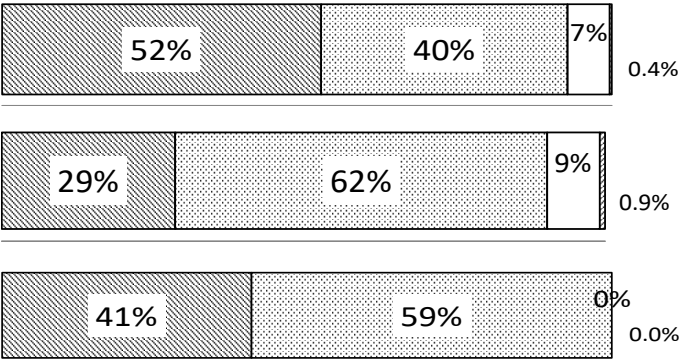
②運動や外遊びを積極的に行っている。

教員の質問文
子供たちが運動や外遊びに積極的に取り組むように、日頃から心がけて指導している。



③学校のルールを守ることができる。

教員の質問文
子供たちが学校のルールや家庭のルールを守ることができるように、日頃から心がけて指導している。



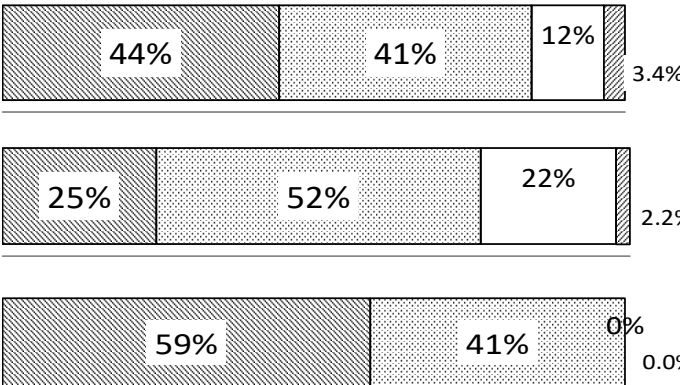
④運動会や学芸会、なかよし学級、移動教室などの行事に参加して自分が成長したと感じている。

教員の質問文
運動会や展覧会、なかよし学級、移動教室などの行事を通して子供たちを育てようと心がけて指導している。



⑤先生や主事さん、友達に自分から進んで、元気よくあいさつすることができる。

教員の質問文
子供たちが、自分から進んで、元気よくあいさつすることができるように日頃から心がけて指導している。



⑥なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の方や先生に相談することができる。

教師の質問文

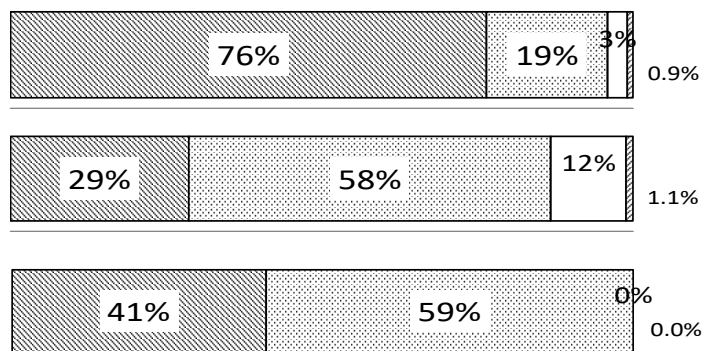
子供たちの悩みに気付けるように、日頃から心がけている。また、親身になって子供たちの相談にのっている。



⑦「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができる。

教師の質問文

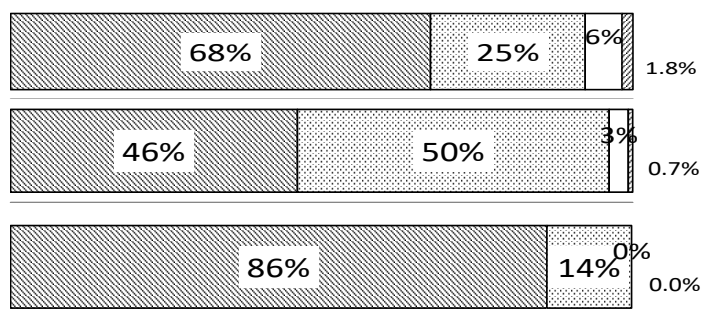
子供たちが「自分の命は自分で守る」ために、安全に気を付けて生活することができるように指導している。



⑧いじめのない明るい学級にしようと努力している。

教師の質問文

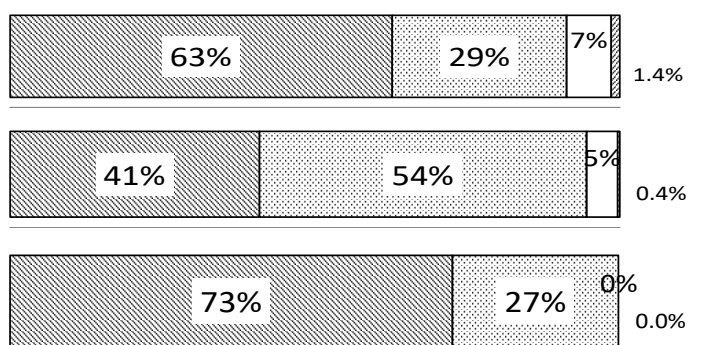
いじめは絶対に許さないという態度で指導を行っている。また、いじめが起きたときには、速やかに対処している。



⑨友達のよいところを認め、誰とでも仲良くしようと努力している。

教師の質問文

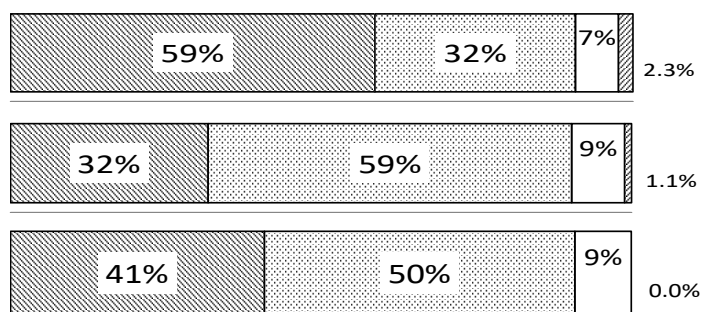
子供たちが友達のよいところを認め、誰とでも仲良くできるように、日頃から心がけて指導している。



⑩忘れものをしないように努力している。

教師の質問文

教育活動に関する必要な情報を、適宜、家庭に発信している。



4 来年度に向けて

①「授業に積極的に参加している」の設問に関して

児童の回答をみますと、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた数は、昨年度とほぼ同じで、約90%ですが、本年度は「そう思う」と答えた児童が10ポイント増えました。自分から進んで学習に取り組んでいると思っている児童が増えたことを嬉しく思っています。

昨年度、本年度と、本校では国語の研究（児童の「読む力」を高める）に取り組んでいます。研究の成果として、①教科書の文章の理解を助けるために、実物や写真などを児童に提示したり、低学年では動作化させたりすることが有効であり、児童の学習意欲にもつながること。②一人一人の児童が自分の考えがもてるようにするために、「登場人物の心情の変化をグラフで表す」「登場人物の気持ちを日記形式にして表す」など、教材の内容や児童の学年段階に応じて表現の仕方を工夫させるとよいこと。をはじめとして、多くのことに気付くことができました。

本校にとって、児童の学力向上は一つの大きな目標となっています。それに向けて、校内研究はもちろんのこと、様々な研修の機会をいかして、今後も指導力の向上に努めてまいります。

④「運動会や学芸会、なかよし学級、移動教室などの行事に参加して自分が成長したと感じている。」の設問に関して

国語、算数といった学習以外にも、児童には自分を成長させる多くの学びがあります。運動会や学芸会といった行事の果たす役割は大きいと改めて思いました。児童の頑張りはもちろんのことですが、保護者の皆様、PTA活動、地域の方々のご協力もあって、行事の価値が高まっていると思います。心より感謝を申し上げます。

当然のことですが、行事の価値が高いといっても、日頃の学習をないがしろにはしてはいけません。その行事を行う効果や価値を吟味し、精選できるものは精選を進めてまいります。

自由筆記欄に、ある保護者の方から、近隣の学校と比べると田二小の子は早く帰ってくるが授業時間等はきちんと確保されているかといったご質問をいただきました。本校では、昨年度から、1単位45分の授業を3回に分割して、低学年・中学年では、漢字や語句の学習、高学年では、英語の単語や表現の学習を行っています。1週間に1回練習するより、時間は短くなったとしても3回練習した方が学習効果が高いと考えたからです。そのため、時間割上は4時間や5時間の日などがありますが、学習時間の総数は他校と変わりませんので、ご承知おきください。

⑤「先生や主事さん、友達に自分から進んで、元気よくあいさつをすることができる」の設問に関して

保護者の回答で「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が24.2%で最も低い評価となっています。自由記述欄にも児童のあいさつの悪さへのご指摘がありました。児童の回答も（同）15.3%となっています。

気持ちのよいあいさつのできる児童は多くいるのですが、声をかけられても返事のできない児童も少なからずいて、昨年度から引き続きの課題となっています。学校では、あいさつ当番活動、全校朝会や学級での話など、指導に力を入れているところですが満足の得られるところには至っていません。

あいさつは人間関係を築く第一歩です。引き続き、指導を重ねてまいります。ご家庭からも、お子さんたちに声をかけていってくださいますよう、お願いいたします。

⑧「いじめのない明るい学級にしようと努力している」の設問に関して

昨年度の回答と比べると、児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた回答が、5.2ポイント減りました。本校に限らず練馬区では、いじめ一掃のために様々な取組を行っています。その中の一つとして、年に3回、児童にアンケート調査を行っています。いじめがないか、教員は児童の観察をつねに行っているところですが、見落としを防ぐためのアンケート調査です。児童自らも、学級で自分たちのクラスは大丈夫か話し合ったり、いじめ防止のポスターを作ったりして、いじめをなくそうと頑張っています。少しずつですが、そういった取組が児童の意識の変化につながってきているように思います。

一方、⑥「なやんだり、こまったりしたことがあるときには、お家の人や先生に相談することができる」という設問において、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が20.3%、保護者が12.9%ありました。困った時に、SOSが発信できるように指導を積み重ねていくと同時に、児童の気持ちに寄り添った指導ができるよう、一層の努力をしてまいります。

